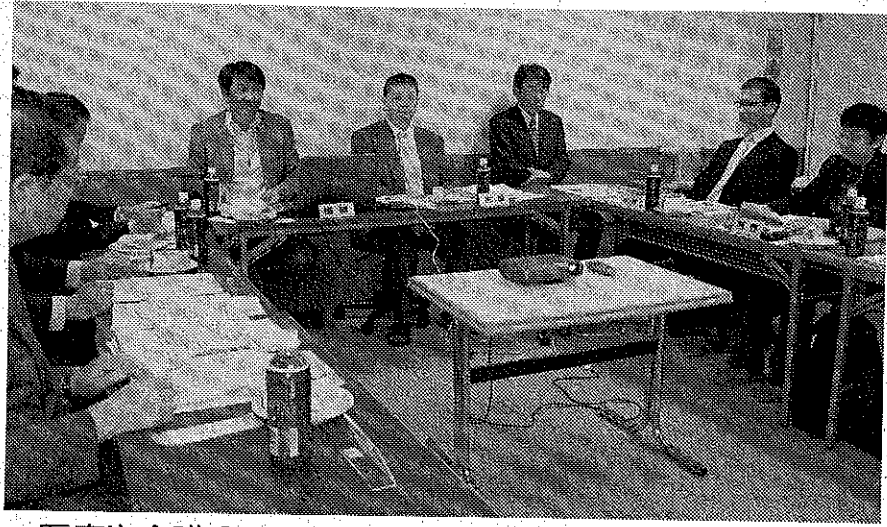


医療・介護周辺サービス産業創出調査事業 意見交換会で

ライフケアビレッジ構想説明



医療や介護の周辺サービスにかかる産業創出について意見を交わした出席者

経済産業省が委託する「医療・介護周辺サービス産業創出調査事業」にかかる意見交換会が19日、鉦路スィミングクラブ(古厩英昭代表取締役)で行われ、鉦路市のライフケ

アビレッジ構想や高齢者らを対象とした外出支援などについて意見を交わした。

同事業は超高齢化社会の本格化に伴い、医療や介護の保険外サービスのルールづくりを目指している。今年度は、民間と医療介護事業者との連携モデル策定やサービスの質の標準化などを進める。

この日は、同事業委託先のSPI(東京都)とともに事業に参加する榎原敏パイディア代表取締役をコーディネーターに、小林雅人ボンセジュール取締役と西野佳名子NPJ日本トラベルヘルパー協会副理事長、古厩代表取締役ら参加団体の役員と、地元からは蝦名大也市長や小松正明副市長らが出席。各団体から介護旅行や交通機関などの移動

支援、高齢者施設のコミュニケーションプログラムといった事例が紹介された。

鉦路市の取り組みとしては小松正明副市長が、中心市街地に高齢者を対象とした居住地の設置や都市機能のコンパクト化、長・短期移住者の受け入れといった市のライフケアアビレッジ構想について説明。出席者からは「地域資源

を活用したサービスの提供ができないか」「要介護者ではなく、自立行動ができる人を対象に安く、長く滞在できるプログラムの充実が欠かせない」などの意見が挙がっていた。

(河辺由記子)

ランチ交流会は、活動に必要な費用は和食「酢だいきり」(二ツ輪九地蔵)を販売して回収(市役所内) 0120-3220-849